

令和5年度 第2回 北茨城市地域公共交通会議 会議録

会議の名称	令和5年度 第2回 北茨城市地域公共交通会議
開催日時	令和5年11月28日（火）午後2時から午後2時40分まで
開催場所	北茨城市役所4階会議室
出席者	別紙のとおり
会議の議題及び会議の内容	<p>会長挨拶</p> <p>○会長 本日はご多忙の中「令和5年度第2回北茨城市地域公共交通会議」へご出席を賜り、誠にありがとうございます。 また、日頃から本市交通行政に関しましてご理解とご協力を賜り、重ねてお礼申し上げます。 さて、市巡回バスにつきましては、10月2日から時刻を一部改正するとともに、路線バスの南中郷～グリーンヒル中郷線を市において代替え運行を開始し、2か月が経とうとしておりますが、特にこれまでに変更したことによる大きなトラブル等はなく運行ができていますと事務局から聞いております。 また、6月に開催しました会議におきまして委員の皆様からご承認をいただきました北茨城市地域公共交通計画の骨子を基に、事務局と委託業者で協議・検討を重ね、素案が完成したと報告がございました。 本日は、事前に送付いたしました北茨城市地域公共交通計画の素案についての協議及びパブリック・コメントの実施についての2項目が主な議題となっております。いずれも計画策定に大きく関わる内容になりますので、委員の皆様の活発な意見交換と十分なお審議をお願いいたします。 結びになりますが本計画もまもなく策定となり、本市の公共交通の在り方についての基本的な方針が決定しようとしております。本計画策定に伴い、「市民誰もが将来にわたって、安心して暮らし続けられる公共交通体系の構築」の推進が図れると考えておりますので、委員の皆様には引き続き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、私のあいさつとさせていただきます。 本日はよろしくお願いいたします。</p> <p>会議の成立について</p> <p>○事務局 本日の出席委員は、代理出席を含め19名で過半数に達しておりますので、本会議の設置要綱第6条第3項の規定により、本会議が成立したことをご報告いたします。</p>
議事	<p>議事進行</p> <p>次第にしたがって、進めさせていただきます。 はじめに、議題1「北茨城市の地域公共交通計画の素案について」を事務局（委託業者）から説明をお願いします。</p>
会議の議題及び会議の内容	<p>議題1 北茨城市地域公共交通計画の素案について</p> <p>○事務局（委託業者） それでは、「北茨城市地域公共交通計画の策定について」をランドブレインの鈴木よりご説明させていただきます。 前回の会議で北茨城市における地域公共交通の目指すべき方向性として基本理念や計画の目標、事業の方向性等をご説明させていただきましたので、本日はその具体的な施策内容の説明になります。 ページで申しますと93頁から98頁及び100頁をご説明させていただきます。それでは93頁をご覧ください。 まずは、実施事業の概要になります。目標①の「拠点間及び地域間を移動しやすい公共交通網の形成」においては2つの事業を考えております。 事業1は「市巡回バスなどの再編」で、利用者数がコロナ禍前のように戻らない</p>

会議の議題
及び会議の
内容

という状況の中で、利用実態や地域の移動ニーズなどに対応するため、巡回バスのルート・ダイヤの見直しを行います。また、有料の市巡回バスと無料の病院シャトルバスが同じ区間を走行しているため、病院シャトルバスの今後のあり方の検討などを考えております。

次に事業2は「公共交通空白地域における移動手段の創出」で新たな移動手段として、デマンド交通やコミュニティ交通などの創出があり、一方で既存の輸送資源の有効活用についても検討していきたいと考えています。

続いて、94 頁の目標②の「広域アクセスの利便性向上」においては、2つの事業を考えています。

事業3は「鉄道の利便性向上」で、広域的な移動の1つである鉄道（常磐線）においては、市内駅発着便の増便、駅のバリアフリー化などの要望活動を引き続き継続して実施することを考えています。

次に事業4は「高速バスによる利便性向上」で、運行ルートの新設や変更・見直しなど広域路線としての充実に向けた要望を引き続き実施することや、駐車場のキャッシュレス化や待合環境の整備など利便性の向上に向けた検討を引き続き行うことを考えています。

続いて、95 頁の目標③の「高齢者など誰もが利用しやすい公共交通環境」の整備においても2つの事業を考えています。

事業5は「交通結節点の利便性の向上」で、駅やバスの主要なバス停において待合環境の整備やバリアフリー化などの利便性の向上に努めることや、鉄道と巡回バスとの乗換の接続強化、そしてバス停の補修や清掃といった環境の維持に努めていきたいと考えています。

次に96 頁の事業6は「先進的技術の活用」で、巡回バスの運賃支払い時のキャッシュレス化に向けた検討や、バスがいまどこを走っているかを把握するためのロケーションシステム導入に向けた検討を行っていききたいと思います。また、持続的社會を目指す上で環境に配慮したEVバスなどの導入の検討を進めていくことを考えています。

続いて、97 頁の目標④の「分かりやすい運行情報の提供」については、事業7として「運行情報提供の充実」を考えており、市のホームページの交通情報のブラッシュアップや広報紙及び観光ガイドブックなどへの交通情報の掲載なども検討していきたいと考えています。

続いて、目標⑤の「地域全体で支える持続可能な公共交通の構築」については、3つの事業を考えており、事業8は「モビリティマネジメントへの取組み」で、子どもや高齢者向けにバスの利用方法を知ってもらうきっかけ作りとして、バスの乗り方教室や出前講座などを実施したり、小中学生用の公共交通でのお出かけモデルルートなどを提供していきたいと考えております。

次に98 頁の事業9は「福祉分野との連携」で、タクシー助成券や免許返納者への特典の継続など移動が困難な方々への支援を継続していきたいと考えております。

そして、事業10は「商業・観光施設などとの連携サービスの導入」で、戻りつつある観光客に対し、来場者の増加や地域の活性化につなげていくため、観光施設へのアクセスや周遊などの交通網の検討、そしてお出かけモデルプランを作成し、新たな需要の掘り起こしなどを図っていききたいと思います。

各事業の概要については以上です。続いて100 頁をご覧ください。

こちらには達成状況を評価するための評価指標を整理しております。先ほどの事業を通じて達成したい5つの目標に対する評価指標（令和10年度までに達成したい目標値）を11個設定いたしました。

①の目標に対しては、巡回バスの年間利用者数及び収支率の指標を考えており、令和10年において、利用者数は10%増、収支率は毎年1%改善を目標として設定しています。また新たな交通システム導入についてはどこか1箇所での導入を目標としています。

続いて②の目標に対しては、鉄道の利用者数は10%の向上を目標としています。南中郷駅につきましては無人化され統計データが収集できないため、その対象から除外

<p>会議の議題及び会議の内容</p>	<p>しております。また、高速バスの利用者数は令和元年度の数字に戻すことを目標にしています。</p> <p>続いて③の目標に対しては、交通結節点（鉄道各駅や高速バス及び主要バス停です）の待合環境の整備箇所数として、こちらは少し猶予を持たせて令和7年から毎年1箇所ペースで4箇所の整備を目標にしております。</p> <p>続いて④の目標に対しては、運行情報案内に関する利用者の満足度を、「満足」や「やや満足」の割合を年に1%ペースで向上した時の目標値にしています。こちらはアンケートで把握することになりますが、アンケート自体は毎年ではなく、計画の更新年の前年度に実施することを想定しています。</p> <p>最後⑤の目標に対しては、乗り方教室などのモビリティマネジメント、こちらについてはその取組みを年1回以上実施し、令和10年までに5回以上やるという目標にしており、次の商業施設と連携した利用者促進活動やお出かけモデルプランについては、そのようなサービスを1件以上実施することを目標にしています。そして最後移動促進につながるタクシー利用助成券については、交付者数の現状維持を目標にしています。</p> <p>北茨城市地域公共交通計画の素案についての説明は以上になります。</p>
<p>議事</p>	<p>○議長 ただいま、「北茨城市地域公共交通計画の素案について」委託業者から説明がありました。何かご意見等がありましたらよろしくお願いたします。</p> <p>○滝委員 目標2の広域アクセスの利便性向上で、鉄道一日の平均乗車人員の南中郷駅が対象除外の理由が統計データを収集できないとのことでしたが、これはどういうことですか。</p> <p>○事務局 南中郷駅は昨年より無人化になり、正確な乗車人数が集計されないということで、JRの方に尋ねたところ集計データはないということでした。大津港、磯原駅の方は有人駅ですのでデータを確認できます。そういった事情から南中郷駅のデータが取れないので、この2駅を目標設定としております。</p> <p>○滝委員 お客さんはICカードで入っていると思いますがそのデータも取れないですか。切符で入る人もいるとは思いますが、それは少ないのではないのでしょうか。</p> <p>○石川委員 乗車人員を公表しているのが基本的には有人駅になります。無人駅はSuica等のデータは取れますが、そのほかに切符で乗車される方や切符を持たずに、例えば電車にとりあえず乗って降りる駅で精算される方などそういう方のデータが拾えず、正確なデータが出せないということで公表していない状況です。調べるには調べられますが、それはあくまでSuicaのデータだけでその他の利用者は調べられないので、データをお出ししていないということです。</p> <p>○滝委員 Suicaだけのデータであっても参考データとしては、このような計画の評価をするにあたっては参考になるのではないのでしょうか。参考データとしてJRさんからもらって計画作りに反映していけばよいのではというのが私の意見です。</p> <p>○石川委員 無人駅のデータ公表は社会的に認められていない状況です。誤解を招く数字になってしまうので出せない決まりになっています。会社に戻り提供できるか検討してみます。</p>

○議長

ありがとうございました。他に質問ございますか。

○豊田委員

タクシー助成券が今年度から1年間48枚使えるようになったということで、利用者の方は喜んでいらっしゃいます。ただ物価高騰のなかでタクシーの初乗り運賃があがりました。助成は640円となっておりますが、利用者からは初乗り料金の距離が短くなったので、自己負担額が今までよりも多くなってしまうため、できれば助成額をこの物価高騰の今、1,000円ぐらいにしてもらえると利用者が助かるといった意見もあったので、今後の参考にしていただければと思います。

○議長

初乗り距離が短くなったということ踏まえ、来年の当初予算で検討しています。

○議長

他に質問ございますか。

○豊田委員

先進的技術の活用ということで、96頁にバスロケーションシステムの導入と書かれていますが、我々の市巡回バスにもこういった先進的技術は導入できるのでしょうか。

○事務局

今後こういったシステムは進化していくと思うので、今後北茨城に合った仕組みをこれから検討していくことを考えていきます。

○服部委員

90頁の下図に将来の地域公共交通ネットワークイメージがあり、タクシーの活用や新たな運行システムが3箇所ありますが、これの具体的なイメージというのがありますか。

○事務局（委託業者）

特に青色の山間部や市街地でも巡回バスが走らない緑色の部分というのは人が住んではいるが、なかなか駅前や主要施設に出にくい地域でございます。この部分につきましては、巡回バスを今後見直していく中で新たにルートができる可能性もあるかもしれないが、現状では今のタクシーをもっとうまく有効利用していくことやそれ以外に送迎バスや他の既存の公共交通といったものをうまく利用して新たな交通運行システムとして活用していこうという考え方で設定しております。ただ、実際何が北茨城市に合っているのかは今後の検討課題だと思っております。

○服部委員

ありがとうございます。もう一つこの場でPRさせていただきますが、今、水戸市で1000円タクシーというものをやっています。デマンドタクシーに近いのですが、デマンドほどお金がかかりません。利用がいればいるほど市の負担が減るという仕組みです。水戸市は交通空白地域だけが対象だが、結城市では市全体で取り入れています。これは福祉が目的なので企画政策課ではなく介護福祉課が所管でやっています。原則は閑散時間帯に市が車両を借り上げてやっています。借り上げ料は、住民の方が片道1000円をいただくので、その分を差し引いた分を市が負担するという仕組みで、デマンドは乗合ですが、この1000円タクシーはいわゆる普通のタクシーを安く使えるというイメージですので、ぜひご検討ください。

	<p>○議長 ありがとうございました。他に質問ございますか。</p> <p>○緑川委員 中郷にあった路線バスが9月に終わったかと思いますが、茨城交通さんは利用客がないので撤退したということですか。</p> <p>○議長 前回の会議でご説明させていただきましたが、同じ路線で市の巡回バスで代替運行しております。</p> <p>○緑川委員 運行をやめたということは採算がとれないということ。市の3つの駅で比較すると南中郷駅は利用率が少ない。タクシーの活用や新たな運行システムの構築は市でやっていけるのか。</p> <p>○議長 様々な事業を実施するため公共交通計画（素案）を作成し、委員の皆様のご承認を得た後に、本計画を策定し、その計画に基づいて事業を進めていく予定です。</p> <p>○緑川委員 現在、タクシー事業も利用者が減り厳しい状況である。茨城交通さんが撤退した事業を市が継続してやっていくことは大変なことだと思う。南中郷駅付近は朝晩の利用者がかなり少ない状況である。公共交通に関することは市内事業者との協議・検討をして進めたほうがいいと思う。</p> <p>○議長 この公共交通計画が策定し、事業を進めていくときはこの会議等で協議・検討しながら進めていきますので、引き続きよろしく願いいたします。</p> <p>○議長 他に質問ございますか。特にないようですので、これまでに出了ご意見を踏まえ、この素案を最終計画案として進めてまいりますので、ご承認のほどよろしく願いいたします。</p>
議事	<p>○議長 それでは、議題2「パブリック・コメントの実施について」を事務局から説明をお願いします。</p>
会議の議題及び会議の内容	<p>議題2 パブリック・コメントの実施について</p> <p>資料2をご覧ください。本日審議いただいた素案について、市民の意見を反映するためにパブリック・コメントを実施します。募集期間は令和5年12月22日（金）から令和6年1月19日（金）を予定しています。提出方法は意見記入様式を用いて、郵送、FAX、電子メールまたはまちづくり課の窓口で直接お持ちするという方法をとっています。資料については、市のHPで公開する他、①北茨城市役所1階まちづくり協働課の窓口、②北部・南部サービスセンター、③市立図書館で閲覧できます。募集の結果については、とりまとめ次第公表する予定です。 以上、パブリック・コメントについての説明になります。</p>
議事	<p>○議長 ただいまの説明について何かご意見ご質問がありましたらよろしく願いします。 特にないようなので、次の議題に進めさせていただきます。続きまして（3）その他になりますが、事務局や委員の皆様、何かございますでしょうか。</p>

<p>会議の議題及び会議の内容</p>	<p>(3) その他</p> <p>○滝委員 巡回バスの停留所を見たが一般の方がイスを並べている待機している状況である。高齢者にとっては大変いいことだが、市としては今後どのような対応を検討しているのか。イスも雨ざらしで老朽化が進み、座ると破損して倒れてしまう危険性もあるので対応をお願いします。</p> <p>○事務局 バス停に設置しているイスは近くの方が持ち寄って設置していると思うが、市としては全て把握できていない状況です。安全性に問題がないかまちづくり課の方で停留所の確認を進めていきます。</p>
<p>会議の議題及び会議の内容</p>	<p>○議長 他にないようですので以上をもちまして、本日の議事を終了させていただきます。今後、パブリック・コメントを実施し、市民の方からご意見等を伺いながら、最終的に北茨城市地域公共交通計画が確定となりますので、引き続き、委員の皆様方のお力添えを賜りますようご協力をお願いいたします。</p> <p>○事務局 議長、ありがとうございました。また、委員の皆様ありがとうございました。以上をもちまして、令和5年度第2回北茨城市地域公共交通会議を閉会いたします。長時間にわたり、誠にありがとうございました。</p>

令和5年度 第2回北茨城市地域公共交通会議 出席者名簿

要綱に掲げる委員	委員選出団体	委員名	出欠 代理出席者
一般旅客自動車運送事業者及びその組織する団体	茨城県バス協会	専務理事 澤島 政志	出席
一般乗用旅客自動車運送事業者 (タクシー事業者)	茨城県ハイヤー・タクシー協会	専務理事 服部 透	出席
	高萩地区ハイヤー・タクシー協会	(有)中郷タクシー 代表取締役社長 緑川 貞幹	出席
一般貸切旅客自動車運送事業者 (貸切バス事業者)	(有) 太陽タクシー	代表取締役 武子 佳生	出席
一般乗合旅客自動車運送事業者 (路線バス事業者)	(株)茨城交通	執行役員 運輸部長 仲野 徳寿	欠席
住民又は利用者の代表	北茨城市連合民生委員児童委員協議会	連合会長 根本 貞一	出席
	北茨城市高齢者クラブ連合会	会長 松本 隆雄	出席
	北茨城市学校長会	会長 菊地 恵美子	代理出席 益子 直
	茨城福祉移動サービス団体連絡会	NPO 法人ウィラブ北茨城 代表 高松 志津夫	出席
	日立製作所通勤会	富岡 修一	欠席
	北茨城青年会議所	理事長 鈴木 秀昭	出席
	北茨城市社会福祉協議会	管理計画課長 根本 博行	出席
	北茨城市商工会	事務局長 馬上 英博	出席
関東運輸局茨城運輸支局長又はその指名する者	関東運輸局茨城運輸局	首席運輸企画専門官 國下 裕司(企画調整)	出席
		首席運輸企画専門官 仲野 俊二(輸送)	欠席
茨城県警高萩警察署長又はその指名する者	高萩警察署	交通課長 鈴木 裕次	欠席
一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体が指名する者	全国自動車交通労働組合 連合会茨城地方本部	磯原支部長 加藤 高雄	欠席
道路管理者	常陸河川国道事務所	計画課長 須藤 勝	欠席
	茨城県高萩工事事務所	道路整備第二課長 嶋津 直樹	出席
鉄道関係者	東日本旅客鉄道株式会社水戸支社	企画室長 石川 健一	出席
その他交通会議が必要と認める場合	茨城県政策企画部	交通政策課長 寺田 明弘	代理出席 澤島 潤
	茨城大学	名誉教授 山田 稔	欠席
	北茨城市議会	議員 豊田 弘俊	出席
	北茨城市議会	議員 柴田 キクエ	欠席
	北茨城市議会	議員 滝 文裕	出席

市長が指名する市の職員	北茨城市	副市長 鵜沼 聡	出席
		市長公室長 石川 裕一	出席

事務局（北茨城市）	まちづくり協働課長	金沢 利幸
	まちづくり協働課 課長補佐	大山 智慶
	まちづくり協働課 主任	沼田 崇志